

2003年3月19日(予定)から

**田園都市線～営団半蔵門線～東武伊勢崎線・日光線が相互直通運転を開始**

相互直通運転用として2002年度中に5000系車両をさらに50両増備します

東京急行電鉄株式会社

東京急行電鉄(本社:東京都渋谷区、社長:上條清文)では、2003年3月19日(水)(予定)から、田園都市線と相互直通運転を行っている営団地下鉄半蔵門線を介し、東武伊勢崎線・日光線との相互直通運転を開始します。これにより、田園都市線中央林間(神奈川県大和市)から、東武伊勢崎線・日光線南栗橋(埼玉県北葛飾郡栗橋町)までが乗り換えなしで結ばれることになり、神奈川～東京～埼玉の一都二県を結ぶ首都圏の新たなネットワーク(全長約100km)が誕生します。

田園都市線(渋谷～中央林間)は、1978年8月から営団地下鉄半蔵門線との相互直通運転を行っています。現在、営団地下鉄では半蔵門線水天宮前～押上間の延伸工事を、東武鉄道では伊勢崎線曳舟～押上間で営団地下鉄半蔵門線との直通化工事をそれぞれ進めており、これらの区間が2003年3月19日(水)に開業の見通しとなったことに伴い、東武伊勢崎線・日光線までの相互直通運転を開始するものです。

当社では、この相互直通運転用として新型車両5000系をさらに50両(10両5編成)新造し、2002年度中に田園都市線に導入する計画です。これにより田園都市線の5000系は、すでに2002年5月に導入している第一編成10両と合わせ、10両6編成となります。

5000系は当社の標準車両として導入したもので、「人と環境に優しい車両」を設計コンセプトに開発したものです。従来車両より床面を下げ、ホームと車両乗降口の段差を少なくしてバリアフリー化を図っていますが、今回増備する車両には、新たに乗降口部分に傾斜をつけ、さらに乗降しやすいものとしています。このほか、車内の各ドア上に設置している液晶ディスプレイを増設し、旅客案内の充実を図るなど、より利用しやすい車両としています。

相互直通運転および5000系車両増備の概要は下記のとおりです。

記

相互直通運転の概要

- |            |  |
|------------|--|
| 1. 運転開始予定日 | 2003年3月19日(水)  |
| 2. 直通運転区間  | 田園都市線 中央林間～営団半蔵門線～東武伊勢崎線・日光線<br>南栗橋(全長約100km)(別紙をご参照下さい) |
| 3. 編成両数    | 10両編成  |

## 5000系車両増備の概要

1. 増備車両数 50両(10両5編成)
2. 導入路線 田園都市線
3. 導入時期 2002年度中
4. 仕様について 今回導入する車両では、2002年5月に導入した車両の仕様を次の通り見直し、より利用しやすい車両としています。

5000系車両は、従来車両(8500系)より床面を下げ、ホームとの段差を少なくしてバリアフリー化を図っていますが、今回増備分からは、車いすでの乗降がさらにスムーズにできるよう、新たに乗降口部分に傾斜をつけています。車内の各ドア上に設置している15インチ液晶ディスプレイを1面増設して2面とするとともに表示内容を見直し、停車駅案内・乗換案内などの充実を図っています。

以上

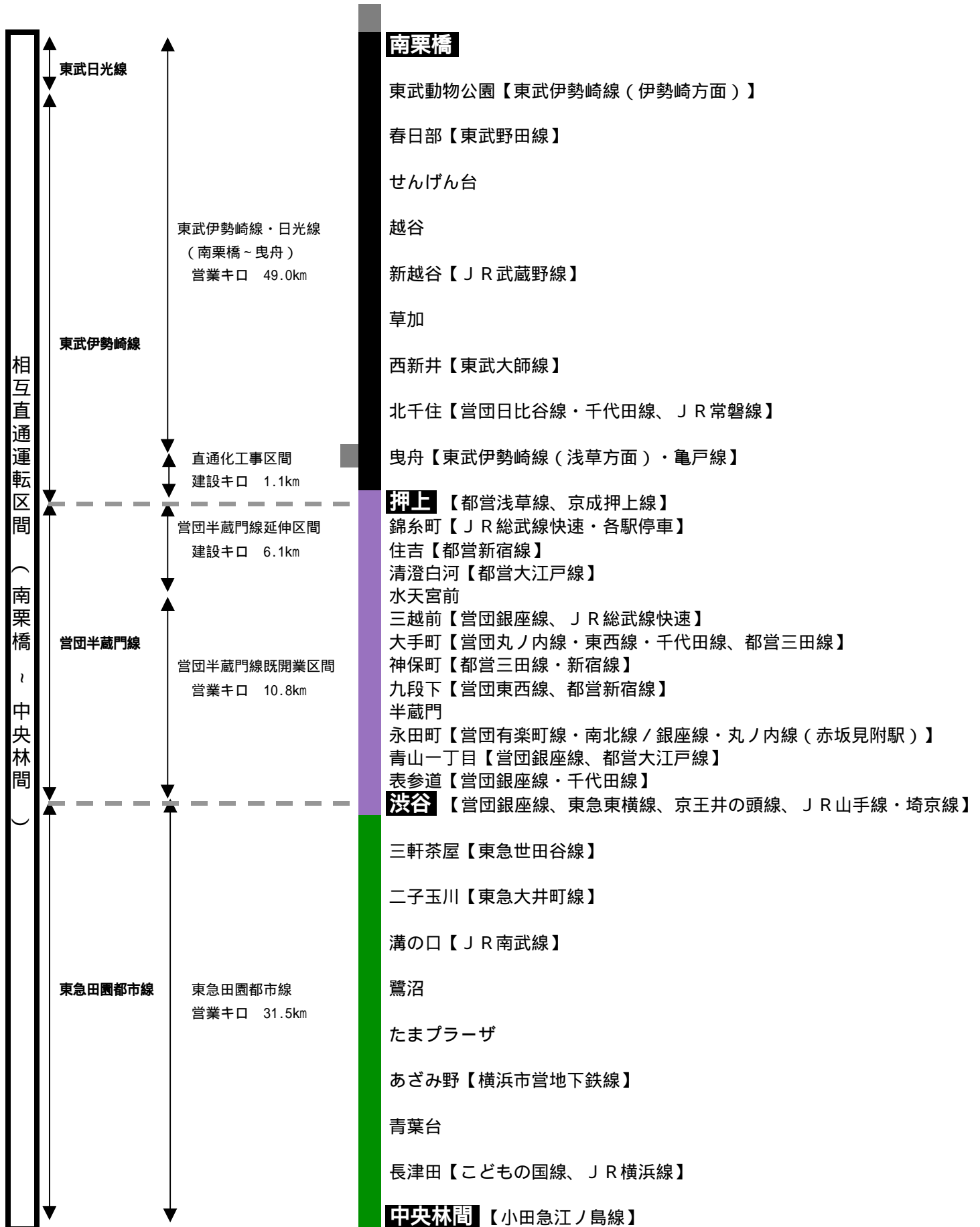
(参考)本日、この資料は次の記者クラブに配布しております。

国土交通記者会  
都庁記者クラブ  
横浜経済記者クラブ  
川崎第一記者クラブ

お問い合わせ先

東京急行電鉄広報室 03-3477-6086 (担当)新堀・佐々木・宮田

相互直通運転区間略図 【 】内は乗換路線名



東武線・東急線内の駅名は、主要駅および乗換駅のみ表示。